



## 出願に向けて

第3回記述・共通模試も終わり、共通テストまであと70日ほどとなりました。一方で推薦も大詰めを迎えつつある今日この頃、私大の一般入試に向けた出願準備も始まってきますね。その中で共通テストの準備も…となると、やはり気持ちは焦るばかりかもしれません。しかし、ここはきちんとやるべきことを整理しましょう。進路だよりも重なることが多いと思いますが、大事な時期だからこそ、今一度以下のチェックポイントを確認しながら整理していきましょう。

特に、第3回の模試を自己採点してみて、ショックを受けている人も少なくないようです。ここで、もうそろそろ基礎問題、実践問題(演習)と入試問題を区別しましょう。そして、入試問題へのシフトをしましょう。ただし、入試問題は解けなくていいのです。解くために過去問に触れるのではありません。今まだ解けないことを理解して、傾向をつかむために過去問に触れましょう。そして、本番までに解けるようにするために、何が必要かを見極めましょう。

### 出願に向けてやるべきこと …早め早めに対応を

#### 1 情報は自分でかつ早めに収集

ネット上だけでなく、学校の進路室で調べられることは多くあります。高3生・卒業生ともに「名東生」に特化した知恵・データの蓄積があるのは、やはり進路室です。個々の生徒の相談に乗ってきた実績もあるので、どんな小さなことでも話をしに行きましょう。

#### 2 願書は自分で取り寄せる (\*多くの大学はHP上にあります)

高校受験と異なり、個別の大学への出願はすべて個人で行います。早めに願書を取り寄せ、入試要項に目を通しましょう。要項がHP上のデータのみ(冊子がない)という大学も結構あります。その場合は枚数多くても、ダウンロード&プリントアウトしましょう。不明点はそのままにせず、必ず早めに担任に相談しましょう。

また、推薦入試の出願に必要な「推薦書」は作成に時間を要します。締切り直前に慌てることがないよう、余裕をもって準備しましょう。

#### 3 願書や志望理由書の記入は心を込めて丁寧に

ネット出願も増えていますが、まだまだ出願が手書きの大学も多くあります。出願書類は黒のペン書き、修正テープを使用しないことは絶対です!鉛筆などで下書きをして内容をチェックした後に、清書します。誤字がある場合は、二重線で誤字を消し、二重線上に印鑑を押し(訂正印)、近くに正しい字を書きます。あまりに訂正箇所が多い場合は、新たな書類に書き直しましょう。

#### 4 出願書類は必ずコピーを取ろう

郵送した書類が何らかの事情で大学に届かなかったり、面接の練習用に志望理由書を読みなおす必要が出てきたり、と手元の控えが必要となる場合があります。すぐに対応できるよう必ずコピーを取りましょう。

#### 5 その他の注意事項

☞ 「調査書」「推薦書」等、学校側(担任)が用意するものは早めに担任にお願いすること。

(\*すぐには作成できません)

☞ 筆記具は消えないボールペンまたはペン(黒)が標準。募集要項をきちんと読み、間違えないように。

(\*フリクション等は不可)

☞ 出願書類のチェック欄「」が用意されているものが多いので、必ず確認しながら「」を。

☞ 大学へ郵送する書類の宛名 → 「行き」となっているものは二重線で消し、「御中」と直そう。

☞ 書類提出の締め切りに注意。「消印有効」か、「必着」か。

☞ 出願書類は、「簡易書留」で郵送するものが多い。必ず、「郵便局の窓口」で出すこと。

☞ 受験で宿泊を必要とする場合は、早めに宿の予約をすること。

☞ ネット出願が増えていきます。記入やチェック漏れ、併願の場合の受験料の違いなどよく注意しましょう。



## 「調査書発行願」作成に向けて …入試方法や日程に注意

### ★ 受験する学校・入試方式を具体的に考えよう

「INDEX2023」(配布済み) P92~を参考に、次の4点を受験する学校同士で比較しましょう。

- ① 試験日・試験方式 (共通テスト/共通テスト+個別併用/一般: 方式は様々)
- ② 出願期間 (消印有効/必着)
- ③ 発表日
- ④ 手続き締切日 → 重要!! 他の受験校と比較し、保護者と検討すること。

\* 受験日程はよく考えましょう。3日連続の試験は、出来る限り避けた方がいいです。かなり疲れます。4日連続の試験はX。迷っている場合は、保護者はもちろん、担任や進路の先生に相談しましょう。

### \*今後の予定\*

11日(金)	国公立大公募推薦一次受付メ切(12/1~1/13出願)
18日(金)	国公立大公募推薦二次受付メ切(12/1~1/13出願)
19日(土)	全統プレ共通テスト模試
12月1日(木)~7日(水)	期末考査
7日(水)	Kパック・青パック受け渡し @集会室
11日(日)	駿台 atama+プレ共通テスト
14日(水)	国公立大公募推薦メ切(共テ有・共テ後出願)
19日~22日	保護者会
23日(金)	終業式
1月10日(火)	始業式 午前授業開始
13日(金)	共通テスト会場準備
14日(土)・15日(日)	共通テスト
16日(月)	自己採点(3・4限)
28日(土)・29日(日)	共通テスト追試験

### 今やるべきことは…?

#### 過去問(共通テスト・大学別)を解こう

- ・進路室を有効活用していますか?
- ・赤本・黒本・青本の使い分けはできていますか?
- ・模試の解き直しはできていますか?

#### できないことよりもできることを見つけよう

- ・大事なことは「上がった(できた)」、「下がった(できない)」よりも、普段授業で解いている基礎問題や実践問題と入試問題は何が違うのかを知ることです。そして、その傾向をつかみましよう。何よりも、今解けない問題は何かを見極めること。そして、それを本番までに解けるようになるにはどうすればいいのかを考えましよう。

### コラム: Halloween

11月に入りました。あっという間にもう2022年が終わりを告げようとしています。そんな11月1日というと、取りざたされるのは昨今の「ハロウィン騒ぎ」です。本当に何かにかこつけてお金儲けを考えるのはどの国もあることかもしれませんが…。ただ、この日はそんな日ではありません。色々な伝統の融合のうちに今日の形はありますが、ヨーロッパでは「諸聖人の日」と言います。そして11月2日の「死者の日」につながる大事な祝日です。彼らにとって「死」は「終わり」ではなく「永遠」に入ることです。「聖なる人」とは「切られた者」。永遠に入るためにこの世から切り離された人です。だから死者は、その永遠なる世界で、まだ限りある世界に生きている人を待っています。そして、いつか私たちが彼らと会えるよう願う日です。